

(西暦) 2025 年 4 月 30 日

鼻出血症に対する検査や治療を行うため当院に入院・通院されていた患者さんの診療 情報を用いた臨床研究についてのお知らせ

はじめに

鼻出血は日常診療でしばしば遭遇しますが、内視鏡および内視鏡下鼻内手術が普及している今日では出血点の同定および止血処置を正確に試行できることが多いです。しかし、出血点が同定できない場合や止血を得られても再発を繰り返す場合は対応に難渋します。

難治性鼻出血の原因として、動脈性出血(鼻腔後方からの出血)、腫瘍性病変(血管腫、若年性血管線維腫、癌、悪性リンパ腫)、鼻腔が狭い、小児や精神発達遅滞などにより非協力的な場合があります。また、全身的要因として、血液疾患、遺伝性出血性毛細血管拡張症、薬剤性(抗凝固剤、抗血小板剤)、肝疾患などがあります。出血部位が不明なものの中には肺出血(喀血)、咽喉頭・食道・気管からの出血が原因となる偽性鼻出血にも留意しなければなりません。

耳鼻咽喉科に求められることは鼻出血の止血です。救急対応時は原因疾患の検索よりも止血処置を優先します。出血点が同定できる場合はバイポーラーで焼灼止血を行います。同定できない場合はガーゼや止血剤やバルーンによるパッキングを行います。それでも止血が得られない場合や出血を繰り返す場合は、手術や塞栓術を検討することになります。

当科で鼻出血症に対する検査や治療を行った症例のデータベースを構築し、治療成績を統計的に集積分析することで治療予後を解析し、今後の治療に反映させる必要があります。

対象

西暦 2013 年 1 月 1 日より 2025 年 3 月 31 日までの間に、【耳鼻咽喉科】にて【鼻出血に対して検査や治療】ため【入院、通院】し、【診療、手術、検査、リハビリテーションなど】を受けた方。

【試料・診療情報等の項目】

試料：ありません。

診療情報等：① 背景情報：現病歴、家族歴、既往歴、生活歴、年齢、性別、身長、体重、臨床所見、家族からの問診情報 ② 初診時および導入化学療法後の鼻腔内視鏡検査、嚥下造影検査 ③ 治療内容とその効果 ④ 鼻腔ファイバースコピー・CT・MRI の画像所見 ⑤ 血液検査

【試料/情報の他の研究機関への提供および提供方法】

本研究で使用される診療情報等は他機関への提供は行いません。(浜の町病院のみで使用の場合)

本研究への協力を望まれない患者さんは、その旨、研究責任者までご連絡をお願いします。

研究課題名 鼻出血症に関する調査研究

研究内容

【方法を記載】

カルテから下記の情報を取得します。 ① 背景情報：現病歴、家族歴、既往歴、生活歴、年齢、性別、身長、体重、臨床所見、家族からの問診情報 ② 初診時および治療後の鼻腔内視鏡検査、嚥下造影検査 ③ 治療内容とその効果 ④ 鼻腔ファイバースコピー・CT・MRI の画像所見 ⑤ 血液検査

個人情報の管理について

- 1) 本研究で取り扱う患者さんの個人情報は、氏名と患者番号のみです。その他の個人情報（住所、電話番号など）は一切取り扱いません。
- 2) 本研究で取り扱う患者さんの診療情報は、個人情報をすべて削除し、第3者にはどなたのものかわからないデータ（匿名化データ）として使用します。
- 3) 患者さんの個人情報と匿名化データを結びつける情報（連結情報）は、本研究の個人情報管理者が研究終了まで厳重に管理し、研究の実施に必要な場合のみに参照します。また、研究終了時に完全に抹消します。
- 4) なお連結情報は当院内のみで管理し、他の共同研究機関等には一切公開いたしません。

研究期間

病院長承認日 ～ 2027 年 3 月 31 日（予定）

医学上の貢献

本研究により被験者となった患者さんが直接受け取ることができる利益はありません。しかし、本研究により頭頸部癌の原因と治療効果が明らかになる事により、新たな知見が得られることで科学への貢献が為され、社会への貢献が達成されと考えられます。

研究実施機関

国家公務員共済組合連合会 浜の町病院 耳鼻咽喉科

【当院での研究責任者】 所属 耳鼻咽喉科 職名 部長 氏名 田浦政彦

【利用する者の範囲】

所属 耳鼻咽喉科 職名 医長 氏名 土橋奈々

お問い合わせ先

本研究に関する質問や確認のご依頼は、下記へご連絡下さい。

氏名 田浦政彦

所属 耳鼻咽喉科

連絡先 092-721-0831

対応可能時間：平日 9：00 から 17：00 まで

以上